

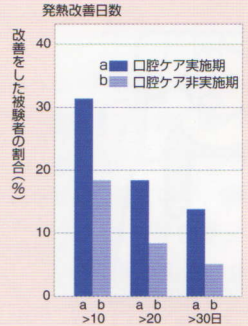
# 口腔ケアをしないと、 どのようになるのですか



口腔の果たす役割には、機能的な問題以外にも、精神的な問題も併せ持つ特徴があります。

病気や障害など、種々の原因で口腔の機能が維持できなくなってきた、もしくは、低下してきたような場合には、その機能の維持・改善・回復を図って行く上には不可欠のものです。

具体的には、以下のような障害が出てきます。



口腔ケア実施期間、相対的に発熱日数の改善が認められます。

## 口腔では

- ① 食べ物が食べにくくなる
- ② 虫歯ができる (悪化する)
- ③ 歯周病になる (悪化する)
- ④ 歯や歯ぐきに痛みや出血が見られる
- ⑤ 口臭が強くなる
- ⑥ 口腔粘膜や口唇が乾燥して切れたり出血したりする
- ⑦ 爽快感がなくなり、気持ちが悪くなる



## 全身に与える影響は

- ① 誤嚥性肺炎  
老人の肺炎の原因には口の中の細菌による感染があります。そこで口腔ケアにより誤嚥性肺炎の予防につながります。
- ② 病巣感染  
口腔の病気が原因して他の部位に病気が発生もしくは悪化することをいいます
- ③ 口腔そのものに病変が発生する



## 介護する側から見ると

- ① 食事時間が長くなる
- ② 調理に手間がかかる
- ③ 口が臭くて困る
- ④ よく発熱する



# 摂食・咀嚼・嚥下障害とは

食べ物が認識できず、口に取り込んでかむことができない、また水や食べ物がうまく飲み込めないことをいいます。

## 摂食・咀嚼・嚥下障害の疑われる兆候

- 水を飲んだ後に声がかれる
- 食べ物が口からこぼれる
- 流動食しか入らない
- 食べるとむせる
- 食後に咳がでる
- 胸につかえる



## 摂食・咀嚼・嚥下障害をきたすとどうなるか

- 誤嚥性肺炎や窒息の危険を招く
- 脱水症の危険性も増大する
- 食べる楽しみが奪われる
- 重度になると胃瘻や経鼻経管による栄養管理が必要になります



## 誤嚥を防ぐには

- 今から食事することをできるかぎり意識させてから食べさせます
- 体温よりも温かいが、冷たいものを選びましょう
- 食べた後、上あごにひつつくようなもの、または、極端にばさばさしたものはさけます
- ゆったりとした雰囲気の中で、時間をかけて食事するようにします
- 食前、食後の口腔ケアをしましょう

## 誤嚥した場合はどうする？

誤嚥して咳が止まらず息苦しそうなきは、深呼吸したり背中をさすってあげたりしましょう。また、温かい飲み物を少量飲むのも効果的です。

